

常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：教育警察常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・委員間討議が必要な項目については、委員会の中で積極的に討議ができた。
- 《連合審査会の実施》
- ・次期「三重県教育施策大綱」の中間案について、戦略企画雇用経済常任委員会と連合審査会を実施できたことは、委員会審議が活性化したという視点から大変よかった。
 - ・「三重県教育施策大綱」については子ども・福祉部なども関係しており、「連合審査会」を実施する場合は、出席要請について検討していくべきである。
 - ・連合審査会開催時の配席について、委員長が委員の挙手を確認することが難しいため、改善した方がよい。

○年間活動計画について

- ・年間活動計画通りに進めることができた。
- ・重点調査項目の「三重県教育ビジョン」の調査にあたって、年間活動計画にない連合審査会を開催し、次期「三重県教育施策大綱」の中間案について審査できたことはよかった。

・重点調査項目

- ・今年度、各種条例案や計画の改正案等が数多く提出されることから、その審査・調査に重点を置き、含まれる様々な課題や問題点等を整理するため、幅広い調査項目を適切に設定するとともに、時間をかけ丁寧に審査・調査を行うことができた。

・県内外調査

- ・県内外調査とともに重点調査項目に沿った適切な視察先を訪問し、中身の濃い充実した調査を実施することができた。
- ・小学校で英語教育を先駆けて実施している名張市立つつじが丘小学校やGAPの取得に生徒が主体的に取り組む県立明野高等学校、人と車の限界を体験する自動車安全運転センターなど、今後の委員会での審査・調査に大いに生かせる事例を視察できてよかった。

○その他

- ・他部局と共管している事項について審査・調査を進める場合は、必要に応じ関係部局の同席を求めることを検討していく必要がある。